



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド  
コード番号 3205

上場取引所 東・名

URL <https://www.daidoh-limited.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 伸

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役上席執行役員 管理部門担当(氏名) 福羅 喜代志 (TEL) 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,032	△8.7	△488	—	△250	—	△382	—
2019年3月期第3四半期	19,745	△2.4	△227	—	3	—	△867	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △418百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △1,935百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△11.78	—
2019年3月期第3四半期	△25.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	39,277	15,696	38.7	467.75
2019年3月期	40,281	16,458	39.2	487.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,184百万円 2019年3月期 15,796百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。配当は実施を予定しており、当社の配当方針に従って決定する予定です。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	△7.5	△500	—	△200	—	△400	—	△12.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	37,696,897株	2019年3月期	37,696,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,234,678株	2019年3月期	5,266,783株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	32,435,028株	2019年3月期3Q	33,656,187株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、企業業績向上や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復が見られましたが、米中貿易摩擦の影響や海外経済の不確実性の懸念などから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、Eコマース市場の拡大は続いておりますが、消費税率引き上げ後は消費の反動減がみられるなど、個人消費については節約志向が強く慎重な購買行動が続いております。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、引き続き事業の効率化と成長が期待される事業の強化に取り組んでまいりました。

衣料事業につきましては、小売部門は成長を続けるEコマースや主力店舗での販売に注力し売上高の確保に努め、パターンオーダーの受注増加に向けた体制強化や、店舗および物流部門の業務効率向上に取り組んでまいりました。卸売部門は取扱い素材の幅を広げて新規取引の拡大をはかり、製造部門は利益率の高い製品の受注拡大とともに製造効率の改善を進めてまいりました。

製造部門のファッション衣料向け原材料の受注減少や、国内の小売部門において、消費税率引き上げに加え、天候不順や台風および豪雨などの自然災害の影響が重なったことなどにより、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、小田原の商業施設「ダイナシティ」は前連結会計年度に一部リニューアルを実施して新たな店舗構成で運営しており、売上高は前年同四半期比で同水準となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,032百万円(前年同四半期比8.7%減)、営業損失は488百万円(前年同四半期は営業損失227百万円)、経常損失は250百万円(前年同四半期は経常利益3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は382百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失867百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,003百万円減少し、39,277百万円(前連結会計年度末比2.5%減)となりました。現金及び預金、たな卸資産、建物及び構築物(純額)、などが増加いたしましたが、主に投資有価証券が減少したことによるものであります。純資産は761百万円減少し15,696百万円となり、自己資本比率は38.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間の状況などを踏まえ、売上高24,400百万円(前回発表予想は25,000百万円)、営業損失500百万円(前回発表予想は営業損失330百万円)、経常損失200百万円(前回発表予想は経常利益50百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失400百万円(前回発表予想は親会社株主に帰属する当期純損失150百万円)と修正いたしております。

本日別途開示いたします「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,880	3,888
受取手形及び売掛金	2,924	2,398
たな卸資産	4,146	4,559
その他	1,646	1,351
貸倒引当金	△80	△75
流動資産合計	11,517	12,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,960	6,764
その他（純額）	940	940
有形固定資産合計	6,901	7,705
無形固定資産		
のれん	769	647
その他	2,109	1,817
無形固定資産合計	2,878	2,465
投資その他の資産		
投資有価証券	15,585	13,461
その他	3,629	3,807
貸倒引当金	△231	△286
投資その他の資産合計	18,983	16,982
固定資産合計	28,764	27,153
資産合計	40,281	39,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,550	1,433
短期借入金	6,904	6,395
1年内返済予定の長期借入金	2,187	4,350
未払法人税等	222	138
賞与引当金	102	68
ポイント引当金	35	33
その他	2,792	2,712
流動負債合計	13,795	15,130
固定負債		
長期借入金	5,901	2,923
長期預り保証金	2,851	2,807
退職給付に係る負債	249	216
その他	1,025	2,503
固定負債合計	10,027	8,449
負債合計	23,822	23,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,134	8,069
利益剰余金	4,856	4,269
自己株式	△4,182	△4,155
株主資本合計	15,700	15,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,593	△1,307
為替換算調整勘定	1,689	1,415
その他の包括利益累計額合計	96	108
新株予約権	181	188
非支配株主持分	480	323
純資産合計	16,458	15,696
負債純資産合計	40,281	39,277

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	19,745	18,032
売上原価	10,640	9,705
売上総利益	9,105	8,327
販売費及び一般管理費	9,333	8,815
営業損失(△)	△227	△488
営業外収益		
受取利息	230	206
受取配当金	148	149
受取手数料	66	66
その他	252	151
営業外収益合計	698	574
営業外費用		
支払利息	111	150
持分法による投資損失	170	14
為替差損	21	43
支払手数料	67	74
その他	95	54
営業外費用合計	467	337
経常利益又は経常損失(△)	3	△250
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	21
子会社清算益	—	67
特別利益合計	1	89
特別損失		
固定資産除売却損	69	3
投資有価証券売却損	—	206
投資有価証券評価損	213	—
和解金	82	—
その他	30	—
特別損失合計	395	210
税金等調整前四半期純損失(△)	△390	△371
法人税、住民税及び事業税	184	138
過年度法人税等	369	—
法人税等調整額	△94	△133
法人税等合計	459	4
四半期純損失(△)	△850	△376
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△867	△382

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△850	△376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△932	285
為替換算調整勘定	△152	△328
その他の包括利益合計	△1,084	△42
四半期包括利益	△1,935	△418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,942	△372
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△46



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が1,375百万円及び投資その他の資産の「その他」が17百万円増加し、流動負債の「その他」が57百万円及び固定負債の「その他」が1,390百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高が34百万円及び非支配株主持分の当期首残高が8百万円減少しております。